

総務委員会

本委員会に付託されました議案五件につきまして、当局から詳細な説明を聴取し、活発な質疑を行い、慎重に審査をいたしました。

その結果、いずれも全会一致で原案どおり可とすることに決しました。

教育民生委員会

本委員会に付託されました議案十一件につきまして、当局より詳細な説明を聴取し、慎重に審査をいたしました結果、いずれも原案を可とすることに決しました。

産業経済委員会

各案件につきまして、当局から詳細なる説明を聴取し、質疑応答を行い、慎重に審査をいたしました。

その結果、当委員会に付託されました議案十九件につきまして、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

総務委員会

九月二十四日から二十六日にかけて、埼玉県和光市・宮崎県宮崎市に行政視察について参りました。

和光市では、防災対策について説明を受けました。和光市総合体育館は、平成十八年に建設された施設ですが、スポーツ施設としての目的に加え、災害発生時には広域避難場所として防災拠点となるような機能を持たせて設計されているとのことでありました。

そのため、メインアリーナを避難所として使用する際にプライバシーを確保するため、の段ボール製の簡易間仕切りや毛布が常時備えられていたり、地下駐車場の柱十数本には都市ガス配管と水道管の蛇口が設置され、非常時の炊き出しを行うことが可能となっております。

また、地下には水害対策用に一万トン級の雨水の調整池が設けられているとのことでした。

これらの施設の各設備につ

いて、現物を見ながら説明を受けました。

次に、宮崎県宮崎市役所では、歳入確保対策について説明を受けました。

平成十六年に市税等の滞納を整理し財源確保を図るために、副市長や関係部課長により構成される、全庁的な組織で歳入確保対策本部を設置し、十二の担当課が連携を取りながら、滞納整理の実務研修会や徴収方針・計画の決定等を行っているとのことでありました。

さらに平成二十年度には、それまでの納税管理課内の特別滞納整理室を、特別滞納整理課として昇格設置し、容易に納付に応じない案件や高額滞納者等の財産を調査し、差押え等の滞納処分を実施するなど対応の強化を図っているとのことでありました。

産業経済委員会

去る十月一日から三日まで、鳥取県境港市ならびに埼玉県川口市を視察して参りました。

まず、境港市では水木しげる記念館を視察しました。

この記念館は元々、料亭だった所を改築したもので、本年度は障害者や外国人観光客対応として音声ガイドシステムが整備されておりました。

入場者数は昨年を上回り、平成十九年度決算では九千五百万円の黒字であります。

また、水木しげるロードを八百mに渡って整備し、現在では妖怪のブロンズ像が八十九体設置されておりました。

商店街については三年前には空き店舗が二十店舗あったものが、現在ではゼロとなったため、空き店舗対策事業は打ち切りとなっております。

また、民間によるファンクラブや水木ロードを守る会など多くの振興団体が結成され、自主的にイベントが開かれ、市はそのポスターの一部のみに補助金を出すだけだと説明を受け、市民が自主的に町おこしに取り組んでいる様子が見えられました。

続いて、川口市では既存建築物耐震診断・耐震改修補助事業と景観行政団体の取り組みについて、視察をいたしました。

耐震診断および耐震改修補

助事業では、コンピュータにもとづく簡易診断を行ってから本市同様に耐震診断そして必要に応じて耐震改修工事を行うものです。

現在、補助金の額を増額する予定であり、申請件数をもっと増やすよう駅前で大規模なキャンペーンを行うなど市の建築物耐震化促進に努力しております。

また、川口市における景観行政団体の取り組みについては、市長のマニフェストによって平成十六年度から着手し、昨年十月一日から川口市景観計画を施行しております。

本市も来年度に景観行政団体を目指して取り組んでいる所でありますが、川口市においては、公聴会を開いたり、議会や市民や様々な関係団体などに報告をとりまとめをし、埼玉県内一律の取り組みではなく、川口市独自の景観作りの理念をもとに目指すべき景観の姿を地域に応じて市内全域に方針を立てており、その手法や考え方は今後の議会活動の参考となりました。